

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2019年6月3日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
3937 6	抗HLA抗体 (スクリーニング検査) 5G535-0000-023-662	血清 1.0	S09 ↓ A00 (X)	凍結 (26日)	3~6	1000 ※5	Luminex 法		重 他項目との重複 依頼は避けてく ださい。 &3

※5：免疫学的検査判断料

[3937 6]抗HLA抗体(スクリーニング検査)に関する注意事項

検体中に過剰に抗体、もしくは補体が存在する場合、抗原・抗体反応が抑制され、偽陰性となる可能性があります。

★本検査は、日本組織適合性学会 QCWS参考プロトコルを遵守して測定実施いたします。

●抗HLA抗体（スクリーニング検査）

抗体関連型拒絶反応（AMR）のリスクを回避するために重要な検査です。

免疫抑制剤の進歩に伴い臓器移植の成績は飛躍的に向上しましたが、抗体関連型拒絶反応（antibody-mediated rejection：AMR）の完全な制御は困難とされています。ドナー特異的HLA抗体（donor specific antibody：DSA）は、AMRを引き起こす重要な因子であり、抗HLA抗体検査はAMRのリスクを確認するために重要な検査です。

▼疾患との関連

移植

▼関連する主な検査項目

HLA（DNAタイピング）

▼検査要項

検査項目名	抗HLA抗体（スクリーニング検査）
項目コードNo.	3937 6
検体量	血清 1.0 mL
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	凍結保存してください
所要日数	3~6 日
検査方法	Luminex法
基準値	
検査実施料	1000点* （「DO14」自己抗体検査の「44」）
判断料	144点（免疫学的検査判断料）
備考	重 他項目との重複依頼は避けてください。 &3

★本検査は、日本組織適合性学会 QCWS参考プロトコルを遵守して測定実施いたします。

[3937 6]抗HLA抗体（スクリーニング検査）に関する注意事項

検体中に過剰に抗体、もしくは補体が存在する場合、抗原・抗体反応が抑制され、偽陰性となる可能性があります。

*診療報酬算定上の条件（抜粋）

- 抗HLA抗体（スクリーニング検査）は、肺移植、心移植、肝移植、脾移植、小腸移植又は腎移植後の患者に対して実施した場合に、原則として1年に1回に限り算定する。
ただし、抗体関連拒絶反応を強く疑う場合等、医学的必要性がある場合には、1年に1回に限り更に算定できる。
なお、この場合においては、診療録及び診療報酬明細書の摘要欄にその理由及び医学的必要性を記載すること。
- 関係学会の作成する指針（日本組織適合性学会によるQCWS参考プロトコル集）を遵守し当該検査を実施していることが公表されている衛生検査所のみ委託すること。

●参考文献

日本組織適合性学会 認定制度委員会：QCWS参考プロトコル 抗体検査（LABScreen）平成29年度版。
（検査方法参考文献）

日本移植学会：臓器移植抗体陽性診療ガイドライン 2018年版。（臨床的意義参考文献）